

## 学校評議員会の実施報告書

|            |          |
|------------|----------|
| ホームページへの掲載 |          |
| 予定         | 2月9日掲載予定 |

### 岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

校長 都竹 輝昌

学校住所 岐阜市西秋沢2-363-1 電話058-239-9712

- 1 会議の名称 岐阜本巣特別支援学校学校評議員会（学校関係者評価委員会）
- 2 会議の構成 委員 國枝 春雄 株式会社サン・シング東海 代表取締役社長  
筑間 敦子 地域ボランティア、本巣小学校茶道講師  
早川 忠利 西秋沢地区自治会長  
松尾 綾子 本巣市本巣民生児童委員  
真野 賢児 社会福祉法人あしたの会 どんぐり村福祉工場長  
(委員名は五十音順)  
学校側 中村 真由美 P T A会長  
都竹 輝昌 校長  
熊田 利行 教頭  
高木 裕之 事務長  
新川 教 小学部主事  
高橋 秀樹 中学部主事  
西村三紀郎 高等部主事  
鹿嶋 成美 教務主任  
大前 裕子 支援センター長
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。
- 4 会議の開催 平成24年1月23日（月）午後13時00分～15時00分  
岐阜本巣特別支援学校校長室  
委員5人と学校側8人が出席
- 5 会議の概要  
(1) 校長挨拶
  - ・学校施設整備について、カーテン教室の間仕切り工事を終え、単独の教室として24室使用できるようになった。来年度に備えていきたい。
  - ・総合特別支援学校として、知肢病に応じた教育を行っている。職員の専門性・意識の向上に向けて引き続き指導していく。
  - ・本年度、高等部卒業予定の35人のうち17人が一般就労の内定を頂いている。また、本校作業補助員として卒業生を1人採用したいと考えている。

- ・本日の学校評議委員会、よろしく申し上げます。

## (2) 議題

### 作業製品の価格について (高等部主事)

意見1 価格案については異議なし。

意見2 製品販売はどのように行っているか。

学校側 校内で教職員や生徒の他喫茶店営業の折等に校外の人にも販売している。また、食品衛生には十分注意して販売している。

意見3 織物の製作を岐阜城北高校とコラボ(共同)で行うことは、大変良いことである。

学校側 織物製品の岐阜城北高校とのコラボだけでなく、現在、岐阜農林高校と柿ジャムの製品作り等について話し合いを進めている。今後更に発展させ良い製品づくりに努力していきたい。

### 自己評価についての説明

#### 質疑応答

意見1 生徒の人権にかかわる項目について、アンケート結果でC(あまりあてはまらない)・D(まったくあてはまらない)が低い値を示している。しかし、本来0%であるべきである。今後もより0%に近くなるよう努力して欲しい。

学校側 教職員には職員会議等で児童生徒に対するかわり方や人権にかかわる指導をしているが、今回のアンケート結果を教職員に周知徹底し、0%になるよう努力していきます。

意見2 生徒のアンケート結果で「わからない」と答えた者がいるが、生徒自身が答えたものか。

意見3 学校をあまり訪問しない者にとっては、判断基準がないので、「わからない」という回答になる。

学校側 回答ができる高等部62人の生徒が回答したものである。全般に回答が難しい項目もあるが、「わからない」の回答が増えている。今後、回答生徒の選出や学校独自項目について、わかりやすい表現を用いる検討をしたい。

意見4 学校は、わかりやすく楽しく学べ、生徒一人一人にあった授業を行ってもらっている。ただ、教材・教具の準備の状況においては1年間使われない教材もある。来年度に向けて検討してもらいたい。

学校側 本校は開校して4年目が過ぎようとしている。充実期を迎えているがまだまだ検討していかねばならないところも多く、来年度に向けて授業の計画等教材・教科書の検討をして選択します。

意見5 ふれあい参観日等を実施しているが、どのように行っているのか。参観等に保護者の方が廊下を歩くだけで、学校の風通しが良くなると思われるので大変良いことである。

学校側 ふれあい参観日と授業参観日があり、どちらか毎月1回は保護者の方に来校して頂ける。ふれあい参観日は1日、授業参観日は2校時に授業参観を実施している。児童生徒の良い姿を保護者の方等に見ていただく良い機会と考えている。特に、小学部の保護者の方

は多数参加されている。

- 意見6 発達障害という言葉が最近聞くようになったが、本校生徒にもいるのか。  
学校側 発達障害の症状としては、学習障害や自閉症がある。本来、発達障害のある児童生徒は通常の小中学校に通うことになっているが、特別支援学校にも入学することがある。児童生徒への支援の在り方については、確立されているわけではない。
- 意見7 来年度の学校行事の予定はどのようになっているのか。地域の方にも周知させたい。  
学校側 小中学部の運動会は6月、高等部の運動会は9月で計画を進めている。また、来年度は高等学校の入試制度が変わる。  
学校行事の予定が決まり次第連絡させていただきます。  
先般、第1回の同窓会総会・成人を祝う会が開催された。卒業生は卒業してから久しぶりに友達や担任に再会し、大変うれしそうな笑顔が印象的であった。毎年行っていききたいと考えている。

## 6 会議のまとめ

児童生徒の安心・安全な学校生活を第1に考えて日々取り組んできた。幸い、大きな怪我や事故等もなく過ごすことができた。これは、保護者の皆様のご理解と職員が取組の結果と考える。保護者の方々との連携・かかわりの在り方を十分に考えて、来年度に向けていきたいと考えています。これからもよろしく申し上げます。

今年度の学校評議委員会にご協力ありがとうございました。